

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	子どもサポートセンター うるら小倉北			
○保護者評価実施期間	R7年 3月 1日		～	R7年 3月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	22
○従業者評価実施期間	R7年 3月 1日		～	R7年 3月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 4月 1日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・年齢層の幅が広い、偏りがないよう毎日の活動プログラムを工夫し、集団や個々に合わせた活動を取り入れている	・同じプログラム内容であっても、年齢期に合わせて内容を変更する等の創意工夫を行っている。 ・集団で楽しめる活動も取り入れており、子どもたち同士が協力し、達成感を味わえるようなプログラム作りを行っている	・さらに充実を図るために子どもたちの発達ニーズに応じた活動内容を提供していきます
	・子どもたち同士のコミュニケーション能力の育成に力を入れており、社会性向上に注力している	・SSTや集団行動などの活動を通して、子どもたち同士が団結して取り組めるよう工夫してプログラムの作成や支援を心がけている	・これからも学年年齢問わず、社会性を身につけていけるように創意工夫を続けていきます
3	・保護者との情報共有に力を入れており、何かあった際には迅速な対応を心がけている	・連絡帳やSNSを通して、日々の活動の様子を発信し、送迎時などに保護者との情報共有を密に行っている ・スタッフが夜間や休日も携帯を常備しており、何かあればすぐに対応できる体制を整えている	・引き続き、何かあった際は保護者の方と情報共有を行い必要であれば話し合いの場を設けていきます

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・建物の構造上、完全なバリアフリー化が難しい	・階段に手すりを設置しているが、建物の構造上完全なバリアフリー化は難しいのが現状	・過ごしやすい環境となるよう配慮の必要性に応じた対応を心がけていきます
2	・保護者同士の交流機会の少なさ	・年に1度保護者会を行っているが、保護者同士の交流の場が提供できていないのが現状	・今後も保護者会を実施をしつつ、交流をする場として食事会などを提案していきたい。
3			